

別紙4 JKA補助事業 2023年度 事前計画/自己評価書(4/5)

5. 補助事業の自己評価

作成日	2023	年		月		日	作成者	荻野 静
-----	------	---	--	---	--	---	-----	------

(a) 個別項目評価

●個別の評価項目について、事前計画/自己評価書(3/5①②) 4. 事前計画 に対する達成状況等を把握し、分析・評価してください。					
(1) 受益者 (二一ス)	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
(2) 事業内容	1.移送車3(燃料車)車いす仕様(リフト式) 2.メーカー名 トヨタ 3.車名 ハイエースバン 4.排気量 2,000cc 5.見積金額 3,883,300円				
事業の新規性または継続の必要性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
事業の発展性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
実施計画・体制	入札等が順調に進み、無事に導入することが出来ました。			4	
(3) 達成目標	事業の実施結果	[達成値] 2023年10月	[達成状況] 80%	[具体的内容] 半導体不足等で当初納車は8月頃ではないかとの話であったが、2ヶ月程の遅れがあった。しかし、コロナウイルスで世界的に物流の低迷の影響もあり、致し方なかったと思います。	3
	事業の成果・波及	[達成値] 27人/週	[達成状況] 84%	[具体的内容] 当初の計画より若干少ない数字となりました。今後は送迎だけでなく通院や、またイベントなどに気分転換を兼ねてお連れする等外出の支援とします使用していく予定です。	3
(4) 情報発信	事業の実施結果	[達成値] 1.1回 2.1回	[達成状況] 1.80% 2.100%	[具体的内容] 1. 当年度は対面での運営推進会議が許可されたため、実際の車両を見て頂くことが出来ました。また、皆様には後日報告書・議事録をお送りしており、そちらにも記事と写真等掲載しています。競輪のロゴがどうしても文書に取り込みが出来ず、JKAのみバナーを載せました。(おそらく拡張子が .ai だからだと思います。弊社は adobe illustrator を導入しておりません) 2. 弊社HPに事業の実施について掲載しました。	4
	競輪・オートレース補助金による事業であること	[達成値] 1.1回 2.1回	[達成状況] 1.100% 2.100%	[具体的内容] 1. 運営推進会議中に口頭での説明・紹介と議事録にJKA、競輪の補助事業であることを明示しました。 2. HPにはリンク、バナーを載せています。	4
(5) 自己評価の体制	計画の通り、管理者会議にて事業の成果を発表しました。自己評価書(1回目)をまとめております。			4	

(b) 総合評価

●(a) 個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。		総合評価点	4
(1) 事前計画 (2/5)記載の「補助事業の直接的な目的」を踏まえた、事業全体についての意見・所感	ほぼ予定通りに車両が導入され、新しい機能・設備でご利用者様の快適性・安全性が格段にアップしたと思います。送迎だけでなく通院や外出に使用することができ、ご利用者様のお役にたっていると自負しております。また、従業員からも操作性に優れている、と聞いています。		
(2) 優れている点・課題、改善すべき点	助成された施設で使用しない時には、サテライトの施設や同じ敷地内にあるグループホームで外出の時に使用させて頂いています。稼働率が上がることで、周囲の皆様にも貴社の福祉事業を周知できるので良いことだと考えます。		
(3) その他、アピールしたい点、是非知ってもらいたい点	沢山の人が利用することで多くの人に喜んでもらい、福祉車両の使用を通じて貴社と競輪の補助事業の広報に務めていきたいと思ひます。		

別紙 JKA補助事業 2023年度 事前計画／自己評価書(5/5)

(c) 事業の促進・阻害要因の自己分析

- 事業の目標達成を促進した、あるいは阻害した要因について、「要因分類」(1)~(15)の「促進」または「阻害」欄に「\*」を記し、要因の内容を a 欄に、阻害要因への対応あるいは今後この分析結果をどう活かすかを b 欄に、それぞれの要因分類の番号(1)~(15)を付して、具体的にご記入ください。
- 促進または阻害要因が無い場合には、(16) の欄に「\*」を記してください。

事業の促進・阻害要因の自己分析					
	促進	阻害	要因分類	a. 促進または阻害要因の具体的な内容	b. 対応、今後この分析結果をどう活かすか。
内部要因			(1) 経費		
			(2) 実施体制 (人員、関係機関の協力等の確保)		
			(3) 資材調達 (事業実施に必要な物資等の確保)		
			(4) 実施期間 (事業終了までに要する期間)		
			(5) 事業運営のノウハウ (進捗管理、資金管理等)		
			(6) 設計仕様の変更 (主に建築)		
			(7) その他		
外部要因	*		(8) 受益者の規模・ニーズ		
			(9) 実施体制以外の団体等の協力・支援		
			(10) 関連法制度の変更		
			(11) 利害関係者 (受益者以外)の要望への対応	助成を受けた看護小規模多機能ホームすみれで使用しない時サテライト施設や同一敷地内のグループホームで使用させて頂いております。 車椅子の方は普通ですと外出の機会がぐんと減ってしまうのですが、他の皆さんと一緒に外出できるのでとても嬉しそうに見えます。	
			(12) 災害の発生 (地震、洪水等)		
			(13) 同様の技術開発		
			(14) 競合するサービス・事業の出現		
		(15) その他			
		(16) 特になし			